

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第9号

令和6年6月15日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

2024年度1学期 ～児童生徒の作品集2～

校長 森 勝義

4年2組 国語単元「アップとルーズで伝える」筆者の考えに対する意見文

坂 條太郎

ぼくは、「アップとルーズを選んだり、組み合わせたりすることが大切です。」という筆者の意見にさん成です。

例えば、テニスだったら、テニスをしているところをアップでとると、選手がどういうふうラケットをふっているかが分かります。また、ルーズを使えば、どれくらいの速さでボールが飛んでいったか、どんなふう観客席の人がテニスを見ているかが分かります。

ぼくは、アップとルーズを使っているいろいろなことを伝えるのが大切だと思います。

熊澤良知

ぼくは、「送り手は、伝えたいことに合わせてアップとルーズを選んだり、組み合わせたりする必要があります。」という筆者の意見にさん成です。

例えば、ぼくがテレビでボクシングの試合を見ているとき、アップでうつされると、パンチが当たったしゅん間のボクサーの顔がうつり、顔がへこんであせが飛びちるのがよく見えて、すごいはくりよくを感じます。ルーズだと、ボクサーの動きやステップをよく見れるし、観客席のもり上がりを見ることもできます。

これらのことから、アップとルーズを組み合わせたりする必要があります。そのおかげで、テレビをより楽しめます。

吉原和玖

ぼくは、「アップとルーズを選んだり、組み合わせたりすることが大切です。」という筆者の意見にさん成です。

例えば、バスケットボールの試合を見ているとき、ルーズでとると、コート全体を見ることができ、試合の流れや両方のチームの選手の動きがよく分かると思います。もし、だれか一人だけがうつし出されていたら、試合の様子が分からずイライラしてしまいそうです。でも、もし、ダンクシュートやパスしている部分をアップでうつしてもらおうと、選手の表じょうが伝わってきて、より楽しく感じられます。

このことから、アップとルーズを組み合わせることは大切だと思います。

「春休みの思い出」

4年1組 柳川咲月

わたしは、春休みにメキシコに行きました。とまったホテルにはプールは5こぐらいありました。部屋のじゅんぴをしているのを持っている間、イタリアンのレストランのピザを食べました。モチモチしでとてもおいしかったです。部屋に行くと、つくえにケーキとお酒が置いてありました。フウセンもいっぱいベッドにありました。ベランダもあってけしきがとてもきれいでした。

三日目に、イルカと泳ぎました。イルカの上に立ったりしてとても楽しかったです。

四日目には、お母さんとお父さんがマッサージ屋さんに行ったのでキッズクラブに行きました。

トレジャーハントをして、トリビアをしました。トリビアはとてもむずかしかったけれど、楽しかったです。

インディアナに帰る時、あと少しでひこう機がとばなくなりそうでした。とても楽しかったので、またいつかメキシコに行きたいです。

「時計の時間と心の時間」を読んで

6年1組 ロス 実夏

私は、「時計の時間と心の時間」を読んで、筆者の主張は、心の時間に目を向けることが、時間と付き合っていくうえでとても重要だということだと思いました。私も「心の時間」に目を向けることがとてもだいじだと思いました。わたしは、いつも友達とあそんでいる時には、10分もたっていないような気がするけど、本当はもう2時間過ぎているときを。たくさん経験したことがあります。さまざまな事がらのえいきょうで、「心の時間」の進み方が変わることを知って、それを考えに入れて、今度友達とあそぶ時、時間を大切に使うてみたいと思いました。

「ぼくがレッサーパンダだったら」

4年1組 小嶋 悠嗣

ぼくは、レッサーパンダ。悪い人がいたらつめでひっかいてやっつけることができる。いつも動物園でのんびりくらして、ささを食べて、宿題をやらなくていい。写真もとられて、何にもしなくて遊べる。

でも、何にもなくて、つままないな。やっぱり人間のほうがいいな。

「空」

4年1組 齋藤 晴太

ぼくは、空。地球の中で、一番大きい物さ。いつもぼくは、アメリカや、日本、他にもいろいろな国を見ている。ぼくが一日の中で楽しみにしている事は、学校の中で何をしているかを見る事だ。今日、学校を見ると、みんな、わらっていて、とても楽しそうだったよ。ぼくの周りには、だれもいなくて少しだけさびしいけれど、みんなが、見えるからそれでいい。

「ミニトマトのたね」

4年1組 平田 柚希

ぼくが毎日の中でいちばん楽しみにしていることは、水やり。毎日水やりをしてくれるからぐんぐんせいちょうできる。植えてもらって10日でめをだした。雨にも負けずつよい力があるから、すぐにトマトがなるようにせいいっぱいがんばっているんだ。



ヒゲ森の言葉の森・探検



しっぷう

もくう

櫛風沐雨

様々な苦勞を体験すること。「櫛風」は風で髪をと
かす。「沐雨」は雨で髪を洗うこと。風雨に身をさ
らされながら大変な苦勞をして働くこと。

人間は四十を越すと

誰でも自分の顔に

責任を持たねばならぬ。

エイブラハム・リンカーン

1809年〜1865年 アメリカの第16台大統領

嫌なことはさっさと忘れてしまおう。脳の忘却システムは心の健康を保ってくれる。